

平成28年度 政治・経済探究 シラバス

検 印	学校長	副校長	教頭

科目名	対象学科・学年	単位数	履修
政治・経済探究	3 学年国際英語科	2 単位	選択

1. 使用教科書：『改訂版高等学校 政治・経済』（数研出版）
2. 資料集：『最新政治・経済資料集』（第一学習社）
3. 問題集『4 ステージ演習ノート 政治・経済』（数研出版）

月	大単元 (編・章)	小単元	指導および評価の観点	時数	月	考查	進 度
第1編 現代の政治							
4 月	第1章 民主政治の基本原則	第1節 政治と法	1.日常生活の中に「政治」との関わりを実感できる（関心） 2.民主政治の歴史を理解できる（知識） 3. 民主政治の価値・大切さを理解し、評価できる（思考） 4. 主な政治体制の違いを理解できる（知識）				
		第2節 民主政治のあゆみ					
		第3節 民主政治の基本原則とその展開					
		第4節 民主政治の試練と課題					
		第5節 政治体制の比較					
	第2章 日本国憲法と民主主義	第1節 日本国憲法の基本的性格	1.国会・内閣・裁判所のしくみについて、その役割・関連を理解し、時事問題への関心を深めさせる（知識・関心）				
5 月		第2節 基本的人権の保障	2.明治憲法と比較して、現憲法の特徴を理解し、より民主的であることがわかる（知識・思考）				
		第3節 日本国憲法の平和主義	3.主権者としてどう政治に関わるかを意識させる（関心）				
		第4節 国会のしくみと役割	4.憲法で規定されている権利を身近な事例で示すことができ、日常の諸問題を憲法の条文と関連づけて考えることができる（関心・思考）				
		第5節 内閣のしくみと役割	5.現実の「自衛隊」や「軍事的諸問題」の実態を把握し、平和主義と関連して評価できる（技能・思考）				
		第6節 裁判所のしくみと人権保障					
		第7節 地方自治のしくみ住民生活					
6 月	第3章 現代政治と政党	第1節 戦後政治と政党	1.現実の選挙に対し、その争点や結果について主体的に考えることができるようにする（関心・技能） 2.戦後の日本政治のあゆみと特徴を理解させる（知識） 3.望ましい選挙制度について自分なりの考えをまとめさせる（思考）				
		第2節 選挙制度のしくみ	4.マスコミの世論形成に対する影響を分析するとともに、マスコミに対する個人のあり方を考えさせる（思考）				
		第3節 世論と現代民主政治の課題					
	第4章 国際政治と日本	第1節 国際社会の特質	1.国民国家と比較して国際社会の特質を理解させる（知識） 2.戦後国際政治の流れを概観する（知識・関心）				
		第2節 国際社会と国際法	3.主な国際紛争について、その性質を歴史的・国際的観点から考えさせる（思考）				
		第3節 国際社会の組織化	4.国際連合などの国際組織の役割をその課題を理解させる（知識・思考）				
		第4節 戦後国際政治の展開	5.国際社会における日本の位置と期待される役割とは何かを考えさせる（思考）				
		第5節 日本の国際的地位と役割					

第2編 現代の経済					
7月・8月	第1章 経済社会の変容	第1節 人間と経済活動	1.「資本主義経済」と「社会主義経済」のしくみ・特徴を理解させ、それぞれの長所・短所について考えさせる（知識・思考） 2.経済問題の基本を理解し、どのような経済制度がよいのかを考えることができる力をつけさせる（思考）		
		第2節 資本主義経済の発展と変容			
		第3節 社会主義経済とその変容			
		第4節 家計・企業の働きと政府の役割			
	第2章 現代経済のしくみ	第1節 市場経済のしくみと物価の動向	1.「経済」に関する基本的知識（しくみや経済用語の意味など）を理解させる（関心・知識） 2.現実の企業・経済の動きに関心を持たせる（関心） 3.金融・財政（税を含む）のしくみと役割について理解させる（思考） 4.国民所得や経済成長、景気循環の概念を理解させる（知識）		
9月		第2節 金融のしくみと働き	1.国際貿易に関する基本的知識を理解させる（知識） 2.戦後国際経済の流れと特徴（特に先進国と途上国の立場の違い）を理解させる（知識・理解） 3.国際社会における日本経済の位置を理解し、国際社会へどのように日本が貢献できるのかを考えさせる（思考）		
		第3節 財政のしくみと租税			
		第4節 経済成長と景気変動			
		第5節 戦後日本経済のあゆみ			
	第3章 国民経済と国際経済	第1節 貿易と国際収支			
		第2節 国際経済の展開			
	第3節 国際経済における日本				
第3編 現代社会の諸課題					
10月	第1章 現代日本の諸課題	第1節 情報化の進展と市民社会	1.情報技術の進展による社会の変容を確認させるとともに、その問題点について理解させる（知識） 2.消費者問題の具体例を参考に、賢明な消費者のあり方を考えさせる（知識・理解・思考） 3.高度成長期後の産業構造の変化を理解させる（理解） 4.我が国の資源エネルギー問題及び公害問題について理解させる（理解） 5.日本の労使関係の特色を理解するとともに、労働問題について理解させる（思考・関心・理解） 6.地方自治のしくみを理解するとともに、中央政府と地方自治体の役割と関係について考えさせる（理解・思考）		
		第2節 消費者問題と消費者保護			
		第3節 産業構造の変化と中小企業			
		第4節 農業と食料の問題			
		第5節 資源・エネルギー問題			
		第6節 公害防止と環境保全			
11月		第7節 地域開発と都市問題	1.世界の人口動態や食糧・資源などの実態を理解させる（知識・理解） 2.軍拡競争と軍縮のあゆみについて理解するとともに、民族・地域紛争についてその背景や要因について考えさせる（知識・理解・思考） 3.高度成長期後の産業構造の変化を理解させる（理解） 4.国際社会における様々な経済的諸課題について理解させる（理解） 4.国際社会における日本の地位を確認するとともに、日本の果たすべき役割について考えさせる（思考）		
		第8節 労使関係と労働市場			
		第9節 少子高齢社会と社会保障			
		第10節 地方分権と地方自治			
		第11節 大きな政府と小さな政府			
	第2章 国際社会の諸課題	第1節 地球規模の諸課題			
12月以降		第2節 核兵器と軍縮	1.世界の人口動態や食糧・資源などの実態を理解させる（知識・理解） 2.軍拡競争と軍縮のあゆみについて理解するとともに、民族・地域紛争についてその背景や要因について考えさせる（知識・理解・思考） 3.高度成長期後の産業構造の変化を理解させる（理解） 4.国際社会における様々な経済的諸課題について理解させる（理解） 4.国際社会における日本の地位を確認するとともに、日本の果たすべき役割について考えさせる（思考）		
		第3節 人種・民族問題			
		第4節 発展途上国の経済と経済協力			
		第5節 経済摩擦の国際的解決			
		第6節 国際社会における日本の役割			

※センター試験過去問題演習実施